



先進対策の効率的実施によるCO2排出量大幅削減事業

平成28年度予算（案）
3,700百万円（2,800百万円）

背景・目的 日本が排出する温暖化ガスを2030年までに13年比で26%削減する政府目標の達成に向けて、排出量の増加が顕著である業務部門と最大排出部門となっている産業部門における排出量の大幅削減を実現するには、**先進的な設備導入支援及び費用効率性向上を促す仕組み**や、更なる排出量削減に取り組む**事業者の裾野拡大**が必要。なお、低炭素社会実行計画では、設備の新設・更新時に**“利用可能な最高水準の技術”を最大限導入する**ことを前提に、2020年のCO2削減目標を設定することが掲げられている。

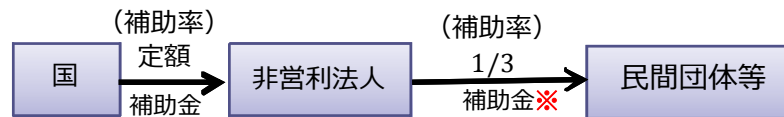
また、国内排出量取引制度の検討にあたっての実証として、参加者間で取引（売買）できる排出枠を付与して取引を可能とすることで、事業全体で着実なCO2排出量削減を実現するとともに、**排出量取引に対する事業者の意識醸成、制度面での課題の整理、知見の蓄積**を図る。

事業概要

- ①ASSETシステムの運用等
委託先：民間事業者 1億円（1億円）
- ②対象BAT設備機器の導入補助業務
36億円（27億円）

事業スキーム

実施期間：平成24年度～平成32年度
(26年度より間接補助化)



- ※ ●1実施事業者当たり上限：2億円
- 審査において環境省指定先進的
高効率機器導入比率**20%未満**
の案件は、**20%以上の案件に劣後**
- 排出量の第三者検証機関による
検証費用の事業者負担化

期待される効果

- 先進対策と運用改善による大幅排出量削減
- 各年度の参加事業者が掲げる削減目標量以上の削減を達成することで、排出量取引に対する事業者の意識の醸成につなげる。
- 削減目標を10%程度超過した事例等の特徴を業種毎に取りまとめ（20事例程度）横展開する。

電気代が高くなったけど
設備更新ができない...



高効率設備の
情報は少なく、
高コスト

環境省



店舗や工場で
目標を立てて
削減する取組
を支援します。

事業者



大幅削減の
目標達成
(クレジット活用等
を含む)

イメージ

グループ参加も可

環境省指定先進的 高効率機器一覧

- ・コージェネレーション
- ・ターボ冷凍機
- ・工業炉、溶解炉
など全31種(H27改定時点)



費用を抑えて大幅削減するぞ！

対象設備の導入補助
(採択基準：削減の費用対効果)
“リバースオークション”



先進対策

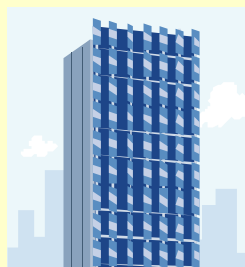
環境省の指定する先進的高効率機器の導入
= 大幅なCO2削減効果が期待できる！

- ✓ 温水・蒸気ボイラー
- ✓ 潜熱回収型給湯機
- ✓ コージェネレーション
- ✓ ターボ冷凍機
- ✓ ヒートポンプ・チリクエット
- ✓ 工業炉

Etc....



既存事業場/
工場



大幅排出削減を実現！
1トンの削減に必要な補助金の小さい額から採用することで、費用効率的な削減対策を選出

CO2排出量

先進対策

運用改善

Before After



運用改善

例1



見える化機器などを活用

例2



削減ポテンシャルの見直し、
排出権削減に対する従業員や
テナントの意識向上

例3



省エネ対策

例4



削減約束量を上回る削減を達成した場合、他の制度参加者へ売却できる排出枠を付与

上記二つのアプローチ(↓ ↓)をとる事で、既存事業場における削減ポテンシャルを十分に活用し、CO2排出量大幅削減を実現する。